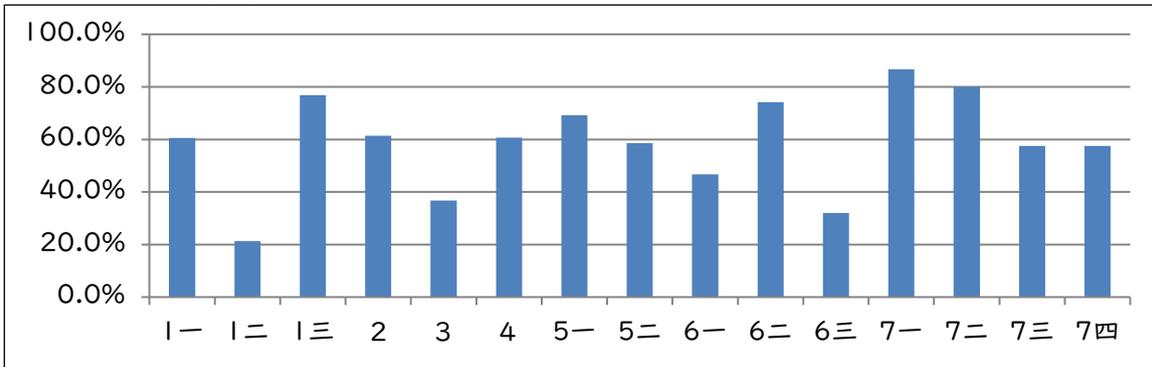


# 令和5年度第2回みえスタディ・チェックの結果（小学校第5学年国語）

## 1 平均正答率・平均無解答率・内容別平均正答率

平均正答率 (平均正答数)	平均 無解答率	内容別平均正答率			
		知識及び技能	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
58.7% (8.8問/15問)	4.87%	62.5%	53.1%	21.3%	63.9%

## 2 各問題の正答率グラフ



## 3 各問題の正答率・改善状況 ※網掛けは、改善状況が過去より5ポイント以上低い問題です。

問題番号	問題概要	内容	問題形式	正答率	過去 同一問題 正答率	改善 状況
1	一 米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する	知識技能	選択	60.6%	64.8%	-4.2
	二 【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	書く	記述	21.3%	26.0%	-4.7
	三 【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	知識技能	選択	76.8%	78.9%	-2.1
2	示された述語に対する主語を選択する	知識技能	選択	61.4%	65.2%	-3.8
3	接続語を使って一文を二文に分けて書く	知識技能	短答	36.7%	38.5%	-1.8
4	故事成語の使い方として適切なものを選択する（五十歩百歩）	知識技能	選択	60.6%	59.3%	+1.3
5	一 学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんが中心に読むとよい段落を選択する	読む	選択	69.2%	70.1%	-0.9
	二 学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、今村さんが中心に読むとよい段落を選択する	読む	選択	58.6%	58.8%	-0.2
6	一 【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する	知識技能	選択	46.7%	44.4%	+2.3
	二 【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する	話す聞く	選択	74.2%	74.4%	-0.2
	三 「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 <input type="text"/> でどのように話すかを書く	話す聞く	記述	32.0%	33.6%	-1.6
7	一 「くわえて」を漢字で書いたときの送り仮名が正しいものを選択する	知識技能	選択	86.6%	91.5%	-4.9
	二 文脈に沿って漢字を読む（勢い）	知識技能	短答	80.1%	84.6%	-4.5
	三 文脈に沿って漢字を書く（みんなで <u>そう</u> だんして）	知識技能	短答	57.6%	61.2%	-3.6
	四 文脈に沿って漢字を書く（き重なきかい）	知識技能	短答	57.7%	57.8%	-0.1

## 【改善が図られた問題】

- ・ 故事成語の使い方として適切なものを選択する（４）

## 【課題が見られる問題】

- ・ 【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く（１二）
- ・ 示された述語に対する主語を選択する（２）

## 4 課題が見られる問題とその課題の改善に向けた指導のポイント等

### （１）課題が見られる問題

#### 1二 の設問 （正答率：21.3 %）

【カード①】※前ページと同じものです。

6月24日  
 ・ 思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。  
 ・ このまま雑草が増えたら米のしゅうかくに  
 えいさしようするのではないかと心配だ。

【カード②】

6月30日  
 ・ 雑草取りをしているが、農家の田んぼには  
 見られないほど、雑草の量が増えてきた。  
 どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。  
 ・ 調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の  
 田んぼの雑草を取って、量を比べる。  
 ・ 調査期間 7月1日～15日

【カード③】

7月19日  
 ・ 学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが  
 追いついていないと考えられる。  
 ・ 雑草の量と米のしゅうかくの関係について  
 農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】

7月20日  
 【農家の石山さんのお話】  
 ・ 雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが  
 減る。  
 ・ 雑草が多いと、いねが病気になることがある。  
 ・ 農家は、さまざまな方法で雑草が生えない  
 ようにしている。

【カード⑤】

7月21日  
 【学校でできる解決方法】  
 ・ 雑草取りの回数を増やす。  
 ・ 雑草取りの人数を増やす。

※解答は、解答用紙に書きましよう。

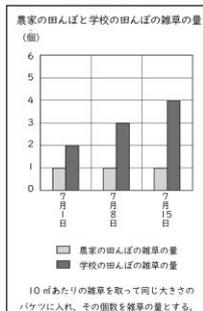
- 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と【カード④】のそれぞれから分かることを書くこと。  
 ○ 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。  
 ○ 六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

（条件）

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法  
 今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることが  
 できました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。  
 その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について  
 説明します。

5月下じゆんに学校の田んぼになえを植えました。6月の  
 終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを  
 続けたのですが、意外に雑草が生えてきて、とても  
 こまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと  
 比べてみました。期間は7月1日から15日までです。  
 右のグラフは、その結果を  
 もとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下じゆんにお米を  
 しゅうかくすることができました。

1  
 二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の  
 米作りの問題点とその解決方法について書くこととしています。あなたが川村さんなら、  
 に入る内容をどのように書きましようか。あとの条件に合わせて書きましよう。

### （２）課題の改善に向けた指導のポイント

自分の考えが伝わるように書く際には、図表やグラフなどを用いて、書き表し方を工夫できるよう指導する

【第5学年及び第6学年】 B 書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

図表やグラフが掲載されている教材文を扱う学習において、図表やグラフを用いた筆者の目的やその効果を捉えながら、自分の表現に生かすことができるよう指導することが大切です。

指導に当たっては、実際に報告したり説明したりする文章を書く学習において、より分かりやすくするために、どのような図表やグラフを用いるのがよいかなど、児童が考える場面を設定すると効果的です。

また、児童の学習の状況に応じて、教師が、図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示し、図表やグラフなどを用いると自分にとっても考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できるものになることを実感できる場面を設定することも効果的です。ただし、国語科の学習であることに鑑み、図表やグラフの読み取りが学習の中心となったり、図表やグラフを自分で作成する活動に過度に偏ったりしないよう留意する必要があります。

### (3) 課題に対応したワークシート

書くこと

自分の考えが伝わるように書き表し方をくふうしよう

年 組 番号前

高野さんの学級では、健康な生活のために「早ね早起朝ごはん運動」に取り組んでいます。高野さんは、これまでの活動の結果を報告文にまとめ、学級のみんに伝えることにしました。次は、高野さんが書いている【報告文の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告文の一部】

○「早ね早起き」活動のまとめ

1 成果

アンケート調査の結果、これまでの半年間の活動が成果を上げていることが分かりました。

活動を始める前の五月の時点では、「次の日に学校がある日に夜十時を過ぎて起きてくる人の割合が全国平均を上回り、早ねができていない人は、えませんでした。それが半年間の活動後には、夜十時まで寝る人の割合が五月の結果を上回り、六十八パーセントをえました。」

(中略)

2 課題

成果があった一方、生活のリズムを保つという点で、今回の活動では改ぜんできず、これから解決していきたい課題があることが分かりました。

課題は、**図**から分かるように、次の日に学校がない日は、学校がある日に比べて、ねる時こくが二時間以上おそくなる人の割合が減っていないことです。

この課題を解決するためには、テレビやゲームの時間、メールなどを減らす時間、そして「健康せんげんカード」の記録方法について考える必要があることが**表**から分かります。

3 解決方法

そこで、わたしたちは多くの人が取り組める次のような解決方法を考えました。

・休みの日にも「健康せんげんカード」に記録をつけるようにする。

・今後は、これらの解決方法に取り組んでいきたいと思ひます。

○「朝」はん活動について

(報告文が続く)

(問い) 高野さんは、「2 課題」を受け、多くの人が取り組めることを考えて「3 解決方法」を書こうとしています。**ア**の中に入る内容を、次の条件に合わせて書きましよう。

(条件) ○〈表〉の結果から考えて書くこと。

○「テレビやゲーム」と「メールなど」の両方の言葉を使って書くこと。

(正答例) ○ 二十五字以上、五十字以内にとめて書くこと。

※◆の印から書きましよう。どちらのうで行を変えないで、続けて書きましよう。

す  
る  
時  
間  
を  
決  
め  
る  
。

テ  
レ  
ビ  
や  
ゲ  
ー  
ム  
の  
時  
間  
、  
メ  
ー  
ル  
な  
ど  
を

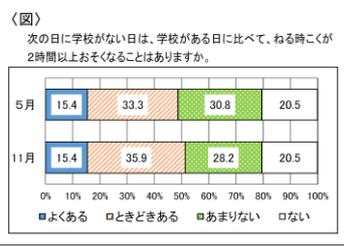
ね  
る  
こ  
く  
が  
お  
そ  
く  
な  
ら  
な  
い  
よ  
う  
に  
、

50 字

(表)

ねる時こくが2時間以上おそくなる理由は何ですか。(11月)  
(いくつ答えてもかまいません。)

夜おそくまでテレビを見たり、ゲームをしたりしているから。	20人
夜おそくまで友だちとメールなどをしていいるから。	14人
休みの日は「健康せんげんカード」に記録しなくてもいいから。	10人
家族のみんなども起きていいるから。	4人
その他	7人



\*学校の先生は、「みえの学力向上県民運動」のホームページ「先生のページ」、「学-Viva!!セット(小学校)」内の「国語 第24弾」から、ダウンロードできます。

\*児童の1人1台端末では、「C B Tシステム」にログインし、「ワークシート」内の「小学校→5年生→国語→書くこと」から、ダウンロードできます。

#### (4) 課題の改善に向けた授業例の紹介（授業アイデア例より）

<p>「学校の米作りについて解説する文章を書こう」 ～情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いて、 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりする～</p>	<p>〈実施対象学年〉 第5・6学年</p>		
<p>情報と情報との関係を捉えて整理し、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られました。そこで、本授業アイデア例では、令和5年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語<sup>1</sup>に登場する川村さんの思考の流れに沿って、課題に応じた三つの場面を取り上げて、指導事例を紹介します。</p> <p>◆書き始める場面：目的や意図に応じて、考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にする ◆情報を整理する場面：情報と情報との関係を捉えて整理する ◆記述する場面：図表やグラフを用いるなどして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する</p>			
<p>書き始める場面</p>	<p>目的や意図に応じて、考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にする</p>		
<p>◇ 川村さんの学級では、経験を基に、自分の考えが伝わるように文章を書くという学習を行っています。川村さんは、困っていることを友達に相談しながら、学習を進めています。</p>			
<p>【目的の確認と内容の検討】</p>			
<p> 川村さん</p>	<p>5年生のときに、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて書こうかな。米作りに興味のある人に役立つ文章にするためには、どんなことを書こうかな。</p>		
<p> 中町さん</p>	<p>米作りの問題点を書く と役立つそう。</p>	<p> 向井さん</p> <p>問題点だけでなく、解決方法も 書くといいね。</p>	<p> 水野さん</p> <p>昨年、米作りをした ときに記録したカード から考えることも できそうだね。</p>
<p> 川村さん</p>	<p>昨年取り組んだときは、雑草がどんどん増えたけれど、解決することができた。記録してきたカードを基に、問題点と解決方法を書こうかな。どのように書いていけばよいのだろう。</p>		
<p> 中町さん</p>	<p>雑草がどんどん増えて大変だったけれど、原因を調べて解決できたよね。そのことが、読む人にはっきり伝わるといいね。</p>	<p> 向井さん</p> <p>読む人は、なぜ、雑草が どんどん増えたのか、 知りたいと思うよ。</p>	
<p> 川村さん</p>	<p>なるほど。なぜ雑草がどんどん増えたのか、そして、どんなことを調べて、どう解決したかを読む人にとって分かりやすいように書いていこう。</p>		
<p> 教師</p>	<p>川村さんが書くのは、調査などを通して明らかになったことを分かりやすく伝える文章ですね。書く目的と内容が明確になったので、米作りについて記録してきたカードを見返し、目的に沿って整理しましょう。</p>		
<p><b>ポイント</b></p>			
<p>文章を書き始める場面では、書く目的や内容を検討する時間を設定し、伝える相手を明確にしたり、経験を基に材料を集めたり、何をどのように書くかを考えたりできるように指導することが大切です。その際、〔知識及び技能〕の(1)カの「文章の種類とその特徴」の指導事項を関連付けて指導することも考えられます。学習の見通しをもつことで、文章全体の構成や展開を考えたり、書き表し方を工夫したりする主体的な学びにもつながります。</p>			

情報を整理する場面

情報と情報との関係を捉えて整理する

◇ 川村さんは、米作りをする人の役に立つために、学校の米作りの問題点と解決方法について書くことにし、情報を整理することにしました。



米作りのときに記録していたカードを振り返って、「雑草」を視点に、整理してみよう。

川村さん

【川村さんが整理している様子①】

5月23日

- ・田植え体験をした。まっすぐになえを植えるのは、とても難しかった。
- ・たくさんのお米がしゅうかくできるように育てていきたい。

7月5日

- ・田んぼの水がかわいていたので、水を入れた。
- ・本で調べると、水の管理が大切だと書いてあったので気をつけたい。

7月20日

- [農家の石山さんのお話]
- ・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
- ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
- ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

6月24日

- ・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
- ・このまま雑草が増えたら米のしゅうかくにえいきょうするのではないかと心配だ。

雑草の量の調査(調査カード)

- ・7月1日  
学校の田んぼ・・・バケツ2個分  
農家の田んぼ・・・バケツ1個分
- ・7月8日  
学校の田んぼ・・・バケツ3個分  
農家の田んぼ・・・バケツ1個分
- ・7月15日  
学校の田んぼ・・・バケツ4個分  
農家の田んぼ・・・バケツ1個分

7月21日

- [学校でできる解決方法]
- ・雑草取りの回数を増やす。
- ・雑草取りの人数を増やす。

6月30日

- ・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
- ・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
- ・調査きかん 7月1日～15日

7月19日

- ・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。
- ・雑草の量と米のしゅうかくの関係について、農家の石山さんの話を聞きに行く。

8月10日

- ・いねのほが出そろい、ほ先に黄色いものがたくさん付いていた。
- ・黄色いものの正体について 図かんなどで調べることにする。

9月29日

- ・いねかり体験をした。石山さんがいねのかり方を教えてくれた。
- ・たくさんお米をしゅうかくできてうれしかった。しゅうかく祭でおにぎりにして食べるのが楽しみだ。

どのカードが使えるかな。まず、「雑草」というキーワードに線を引いて関係があるカードだけを選んでみよう。



9月29日のカードは、「いねかり」のことだから、取り上げる必要はないな。

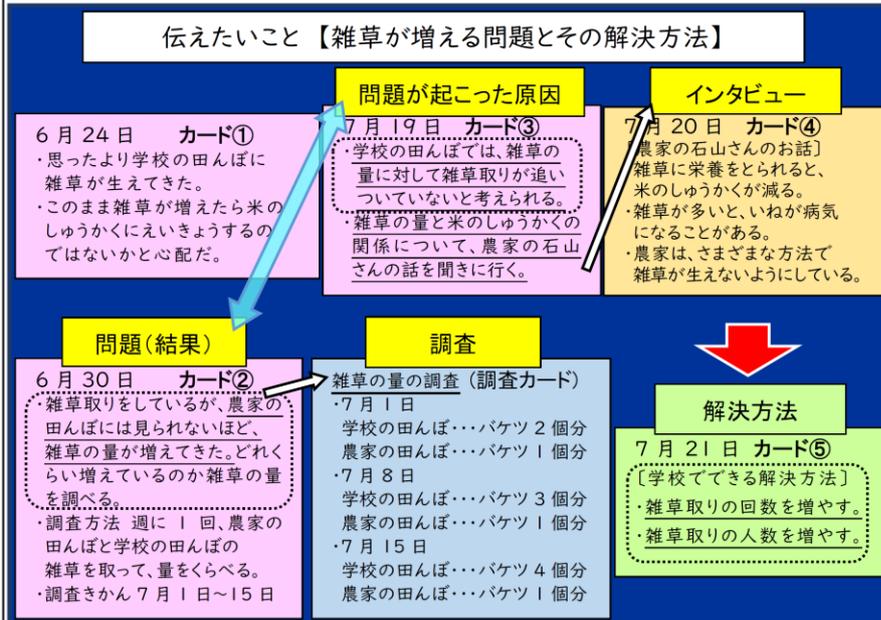


教師

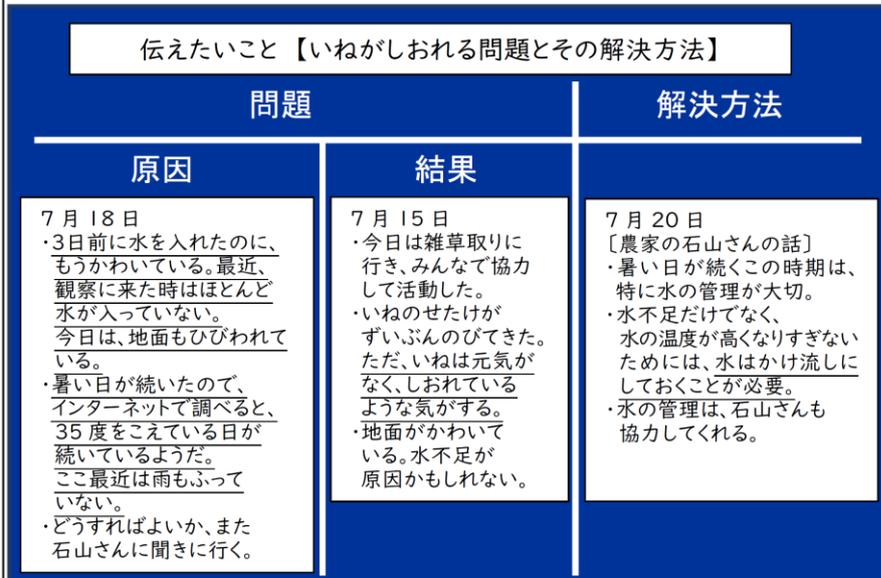
川村さんは、キーワードに印を付けることで、必要なカードと不要なカードを分類することができましたね。すべてのカードを使おうとするのではなく、目的に応じて必要な情報を選び出すことが大切です。

みなさんも、情報を整理することができましたね。では、選んだカードを関係付けて、伝えたいことを明確にしていきましょう。

【川村さんが整理している様子②】



【中町さんが整理している様子】



川村さんは、カードを矢印でつないだり、情報と情報との関係を見いだして、書き込みをしたりして、整理をしていますね。  
 中町さんは、情報と情報との関係を表した表を用いて、カードを動かしながら、整理をしていますね。  
 みなさんも、二人のように、情報と情報との関係を捉えて整理し、伝えたいことを明確にしたり、文章全体の構成を考えたりすることが大切です。

ポイント

情報を整理する場面では、必要な情報に印を付けたり、情報と情報を矢印でつないだり、表を用いてまとめたりするなどして、情報と情報との関係を視覚的に捉えることができるようにすると効果的です。また、情報を整理する際には、ICT機器を活用すると、編集したり視覚的に捉えたりしやすくなるので、情報を整理しやすくなります。

記述する場面 図表やグラフを用いるなどして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する

◇ 川村さんは、整理した情報を基にして自分の考えが伝わるように文章を書いています。



川村さん

情報が整理できたから、次は、問題点と解決方法に着目して、カードを並べて、文章を書いてみよう。

問題点			解決方法
<p>6月30日 カード②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。</li> <li>・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。</li> <li>・調査さかん 7月1日～15日</li> </ul>	<p>雑草の量の調査 (調査カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月1日 学校の田んぼ…バケツ2個分 農家の田んぼ…バケツ1個分</li> <li>・7月8日 学校の田んぼ…バケツ3個分 農家の田んぼ…バケツ1個分</li> <li>・7月15日 学校の田んぼ…バケツ4個分 農家の田んぼ…バケツ1個分</li> </ul>	<p>7月20日 カード④</p> <p>〔農家の石山さんのお話〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。</li> <li>・雑草が多いと、いねが病気になることがある。</li> <li>・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。</li> </ul>	<p>7月21日 カード⑤</p> <p>〔学校でできる解決方法〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑草取りの回数を増やす。</li> <li>・雑草取りの人数を増やす。</li> </ul>

ポイント



「雑草取り」のことは、どのように雑草取りをしたのかを、詳しく書いた方がよさそうだな。

「調査結果から～が分かりました」と、分かったことを書くことはできそうだな。

問題点に対してどう考えたのか、どう解決しようとしたのかを書くときには、「そこで」を使うと分かりやすいな。

【川村さんの文章 下書き①】

(略)6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、雑草の量が増えてきました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべてみました。きかんは、7月1日から15日までです。調査結果から、学校の田んぼでは、雑草の量に対して、雑草取りが追いついていないことが分かりました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。

問題点
カード②
調査結果 (調査カード)
解決方法
カード⑤



問題点と解決方法を書いたけれど、問題点について、もっと明確に書きたいな。どのように書いたらいいかな。



向井さん

調査カードに書いてある調査結果も詳しく書くといいと思うよ。その調査結果をみて、石山さんに聞きに行こうと思ったんだね。専門家に聞くことで、問題点が明確になったね。



水野さん

そうだね。カード④の石山さんのお話も入れた方がいいね。雑草が増えるとどんな問題があるのかということを書くことで、問題点としての説得力が増すね。



ありがとうございます。調査結果を書いたり、専門家にインタビューをしたことを書いたりするなど、複数の情報を基にして書くと、考えがより明確に伝わるね。もう一度、書いてみるね。

【川村さんの文章 下書き②】

(略)6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、雑草の量が増えてきました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべてみました。きかんは、7月1日から15日までです。7月1日は、学校の田んぼはバケツ2個分、農家の田んぼはバケツ1個分でした。7月8日は、学校の田んぼはバケツ3個分、農家の田んぼはバケツ1個分でした。7月15日は、学校の田んぼはバケツ4個分、農家の田んぼはバケツ1個分でした。学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。

問題点
カード②
調査結果 (調査カード)
カード④ 石山さんの話
解決方法
カード⑤



問題点と解決方法に着目して書いてみたけど、読みづらい気がするなあ。どうしたらいいかな。



川村さんは、読む人のことを考えて、悩んでいますね。自分の考えをより分かりやすく伝えるためには、書き表し方を工夫することが大切です。そのことを考えるための資料を用意しましたので、学級全体で考えてみましょう。

教師

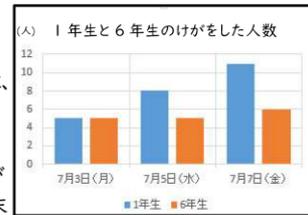
【教師が提示した資料】

A : グラフが入っていない資料

**例** 学校で起こるけがの問題点とその解決方法  
けがの治りょうのために、保健室にきた人数を調査してみました。  
7月3日(月)は、1年生が5人、6年生が5人でした。7月5日(水)は、1年生が8人、6年生は5人でした。7月7日(金)は、1年生が11人、6年生は6人でした。6年生のけがをした人数は、ほぼ変わらないのに対して、1年生のけがをした人数が増えていることが分かります。1年生は週末につかれが出やすく、注意力が低下するかもしれないという問題点が見えてきました。そこで、週末にかけて、校庭と校舎内の見守りの人数を増やすことにしました。

B : グラフが入っている資料

**例** 学校で起こるけがの問題点とその解決方法  
けがの治りょうのために、保健室にきた人数を調査してみました。  
右のグラフを見ると、6年生のけがをした人数は、ほぼ変わらないのに対して、1年生のけがをした人数が増えていることが分かります。1年生は週末につかれが出やすく、注意力が低下するかもしれないという問題点が見えてきました。そこで、週末にかけて、校庭と校舎内の見守りの人数を増やすことにしました。



グラフを入れると、見て分かることは書かなくてよいから、文字が少なくて、読みやすいですね。

中町さん



Bの方が、人数の増減の比較がしやすく、1年生のけがが増えているという問題点が明確になりました。



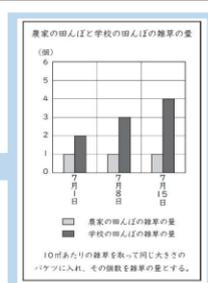
Bの「右のグラフを見ると」という言い方も、とても大切です。



よく分かりました。図表やグラフなどを用いると、自分の考えをより分かりやすく伝えることができますね。調査結果の部分について、グラフを用いて、書き直してみようと思います。

【川村さんの文章 完成】

(略)6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、意外に雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量を比べてみました。期間は、7月1日から15日までです。  
右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。グラフから分かるように学校の田んぼでは雑草が増え続けたため、雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。  
そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。



問題点

カード②

調査結果  
(調査カード)

カード④  
石山さんの話

解決方法  
カード⑤

ポイント

- 文章を記述する場面では、友達と助言し合いながら、児童自身が自分の文章を何度も見直したり、書き直したりできるように指導することが大切です。
- 児童の学習の状況に応じて、教師が、図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示することが効果的です。特に、本授業アイデア例のように、複数の文章を比べることで、図表やグラフなどを用いると、自分にとっても考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できるものになることを実感できるようにすることが効果的です。

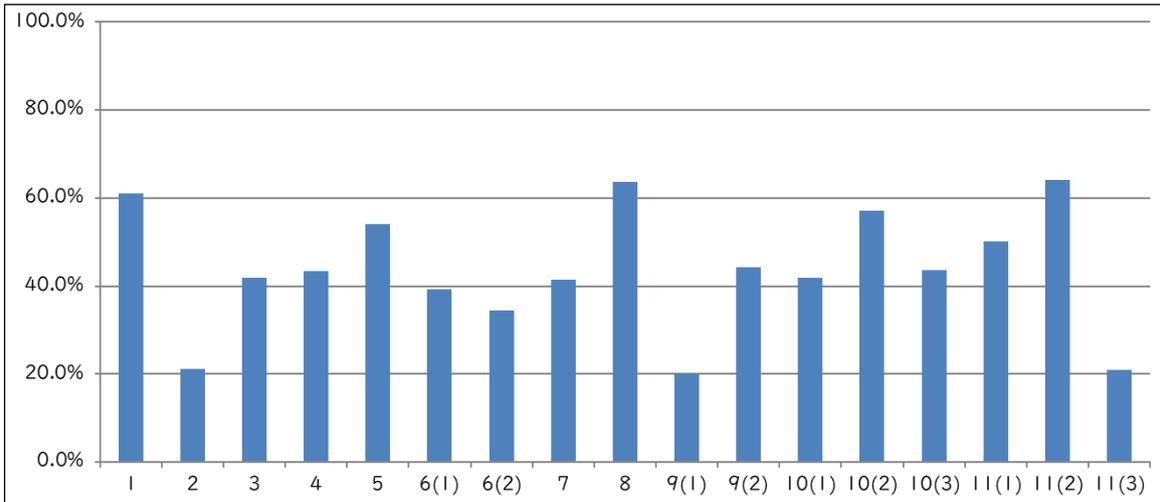


# 令和5年度第2回みえスタディ・チェックの結果（小学校第5学年算数）

## 1 平均正答率・平均無解答率・領域別平均正答率

平均正答率 (平均正答数)	平均 無解答率	領域別平均正答率				
		数と計算	図形	測定	変化と 関係	データ の活用
43.8% (7.4問/17問)	2.54%	46.8%	42.4%	54.3%	41.3%	45.1%

## 2 各問題の正答率グラフ



## 3 各問題の正答率・改善状況 ※網掛けは、改善状況が過去より5ポイント以上低い問題です。

問題番号	問題概要	領域	問題形式	正答率	過去 同一問題 正答率	改善 状況
1	$6 + 0.5 \times 2$ の計算をする	数と計算	短答	61.1%	62.3%	-1.2
2	$12 \div 0.8$ の式で求められる問題をすべて選ぶ	数と計算	選択	21.3%	23.3%	-2.0
3	色をぬった部分の長さが $\frac{2}{3}$ m のテープを選ぶ	数と計算	選択	41.9%	38.6%	+3.3
4	2は5の何倍かを求める	数と計算	短答	43.4%	44.2%	-0.8
5	午前10時25分から午後1時15分までの時間を求める	測定	短答	54.3%	56.7%	-2.4
6	(1) ㊶と㊷の二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	変化と関係	選択	39.2%	53.5%	-14.3
	(2) 二人の速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ	変化と関係	選択	34.5%	54.3%	-19.8
7	180度以上の角の大きさを求める	図形	選択	41.5%	42.6%	-1.1
8	L字型の図形の面積の求め方を表す式を、示された図を基に選ぶ	数と計算 図形	選択	63.7%	59.8%	+3.9
9	(1) 切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときの㊸の角の大きさを書く	図形	短答	20.1%	23.2%	-3.1
	(2) テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選ぶ	図形	選択	44.4%	32.4% <参考値>	+12.0

問題番号	問題概要	内容	問題形式	正答率	過去同一問題正答率	改善状況	
10	(1)	$\frac{1}{4}$ Lの図を直すわけとしてまとめた文章に入る数を書く	数と計算	短答	42.0%	43.0%	-1.0
	(2)	$\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ の計算の仕方を表している図について、一つ分の大きさが何Lであるのかを書く	数と計算	短答	57.4%	59.3%	-1.9
	(3)	0.75+0.9について、ある数のいくつ分かを考え、整数のたし算に表して説明するときの求め方を書く	数と計算	記述	44.0%	44.0%	0.0
11	(1)	学校ごとの1人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ	変化と関係 データの活用	選択	50.1%	48.5%	+1.6
	(2)	示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ	データの活用	選択	64.2%	67.4%	-3.2
	(3)	A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く	データの活用	記述	20.9%	20.7%	+0.2

<参考値>：過去同一問題は、選択と記述を問う問題のため、正答率は、解答類型の「選択」部分のみの正答率を算出して示す。

### 【改善が図られた問題】

- ・色をぬった部分の長さが $\frac{2}{3}$ mのテープを選ぶ(3)
- ・L字型の図形の面積の求め方を表す式を、示された図を基に選ぶ(8)

### 【課題が見られる問題】

- ・ⒶとⒷの二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ(6(1))
- ・二人の速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ(6(2))
- ・切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのⒶの角の大きさを書く(9(1))
- ・示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ(11(2))

## 4 課題が見られる問題とその課題の改善に向けた指導のポイント等

### (1) 課題が見られる問題

#### 6 (2) の設問 (正答率：34.5%)

6

(2) 下の表はあいりさんとそうまさんが短きより走で、走ったきよりとかかった時間を表しています。

	きより (m)	時間 (秒)
あいりさん	60	10
そうまさん	80	15

どちらのほうが速いかを調べるために、下の計算をしました。

$$\text{あいりさん } 60 \div 10 = 6$$

$$\text{そうまさん } 80 \div 15 = 5.3\cdots$$

上の計算からどのようなことがわかりますか。

下のアからエまでの中から1つ選びましょう。

ア 1mあたりにかかった時間は6秒と約5秒なので、あいりさんのほうが速い。

イ 1mあたりにかかった時間は6秒と約5秒なので、そうまさんのほうが速い。

ウ 1秒あたりに走ったきよりは6mと約5mなので、あいりさんのほうが速い。

エ 1秒あたりに走ったきよりは6mと約5mなので、そうまさんのほうが速い。

### (2) 課題の改善に向けた指導のポイント

#### 速さを求める除法の式と商の意味を理解できるように指導する

【第5学年】 C 変化と関係

(2) 異種の二つの量の割合として捉えられる数量に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

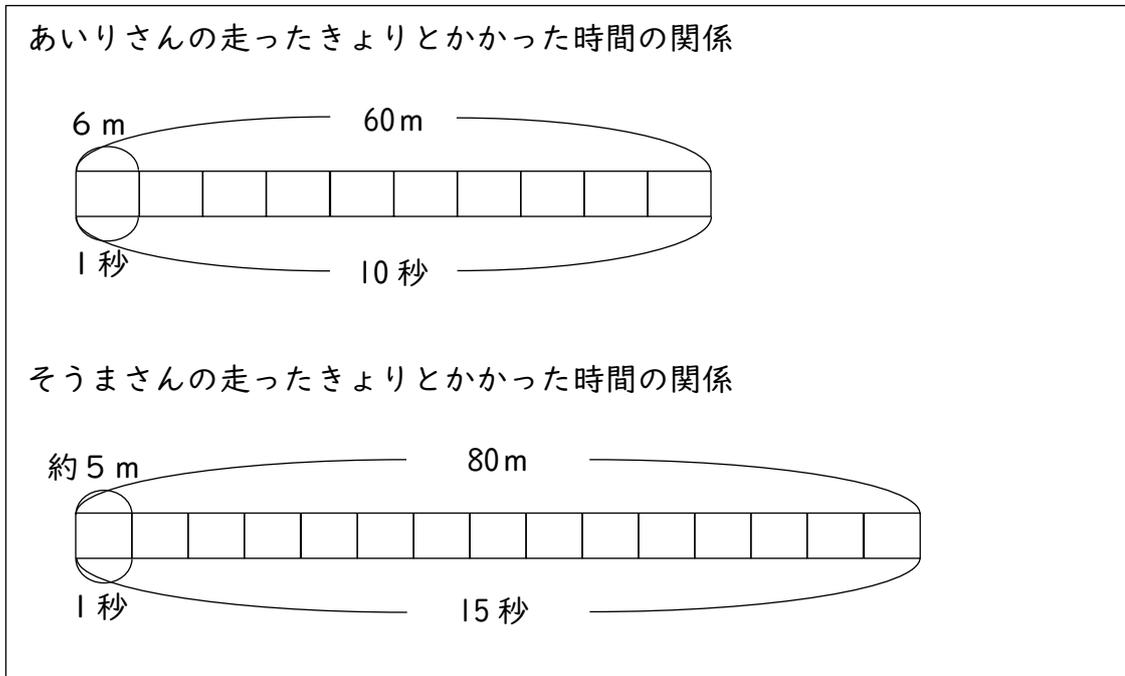
(ア) 速さなどの単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めること。

速さについて、どちらが速いかを比べる際には、単位量を距離又は時間で比べる場合があり、どちらを単位量として設定しているかについて考え、速さを求める除法の式と商の意味を理解できるようにすることが重要です。

指導に当たっては、例えば、本設問を用いて、60mを10等分することや、80mを15等分することについて、次のような図を用いるなどして、1秒間あたりに進む距離を求めていることを確かめる活動が考えられます。その際、式の中の数と、表の中の数値を対応させることで、 $60 \div 10$ を(距離)÷(時間)と捉え、

1秒間あたりに進む距離を求めていることを理解できるようにすることが大切です。また、 $10 \div 60$  という式は、1 m 当たりにかかる時間を求めていることを理解できるようにすることも大切です。

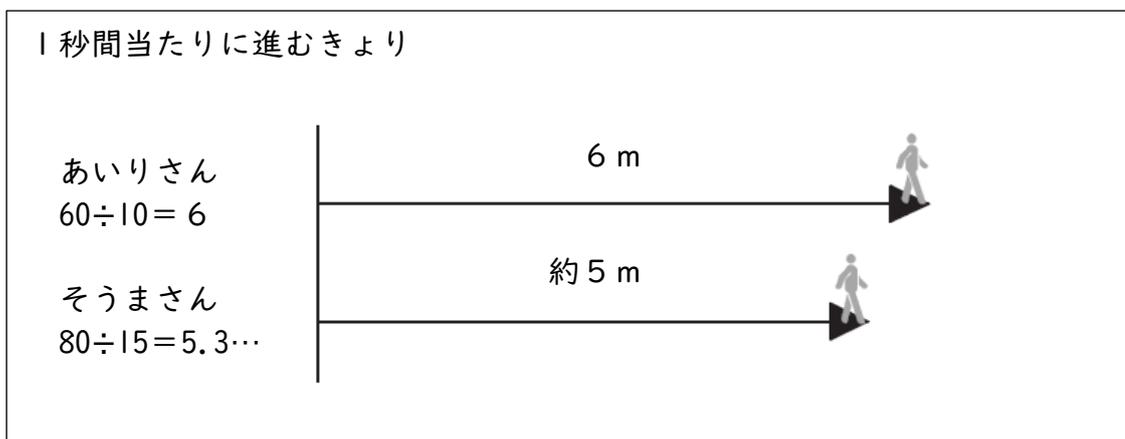
読み取った内容を整理して書く際は、何を単位量として設定するのかを明確にしたうえで、必要な内容を選択してまとめるように指導することが大切です。



どちらが速いかを調べる場合には、距離と時間のどちらを単位量にするかによって、求めた商が大きい方が速い場合と、小さい方が速い場合があり、商の意味を理解して判断できるようにすることが重要です。

本設問で「エ」と解答を誤った児童は、1秒間あたりに進む距離を比べていることを捉えることはできていますが、商が小さい方が速いと判断していると考えられます。

指導に当たっては、例えば、どちらが速いかを考える際に、同じ時間で長く走った方が速いという日常の経験を想起しながら、1秒間あたりに進む距離の大小について、下のような図を用いて判断する活動が考えられます。その際、矢印の長さが1秒間あたりに進む距離を表していることと、その長さが長い方が速いということを確認することが大切です。



また、1 m 当たりにかかる時間を考えたときも同様に、1 m 当たりにかかる時間の大小について、どちらが速いかをどのように判断するのかを考える活動も考えられます。その際、50 m 走のように同じ距離を短い時間で走った方が速いという日常の経験を想起しながら、1 m 当たりにかかる時間が短い方が速いということを確認することが大切です。

このような活動をとおして、距離と時間のどちらを単位量として設定しているかを明確にし、求められた数値の大小でどちらが速いかを判断できるようにすることが大切です。

なお、速さを求めるだけでなく、複数の速さを比べる場面を設定し、「どちらが速いですか。」や「どうして速いと分かるのですか。」などと問いかけ、速さを比べることの意味を理解できるようにすることが大切です。

### (3) 課題に対応したワークシート

答え

変化と関係

## 速さについて考えよう

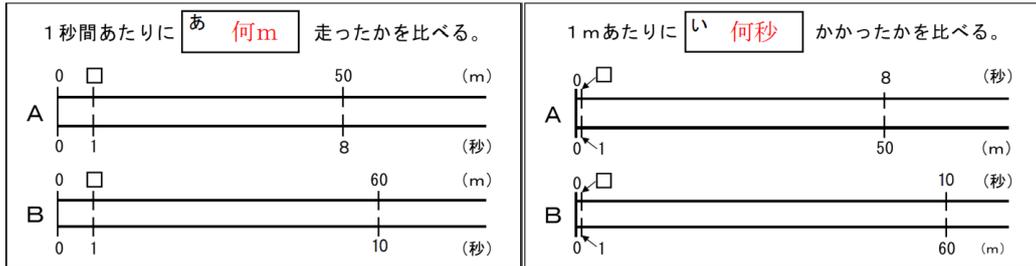
年 組 番 名 前

○次の問題に答えましょう。

- 1 右の表は、**A**さんと**B**さんが走ったきよりと、かかった時間を表しています。**A**さんと**B**さんとは、どちらが速いか、比べ方を考えます。

	きより (m)	時間 (秒)
A	50	8
B	60	10

- (1) 次の2つの比べ方について、**あ**、**い**には言葉を、**う**から**か**には数を書きましょう。



A :  $50 \div 8 =$  **う** **6.25** (m)

A :  $8 \div 50 =$  **お** **0.16** (秒)

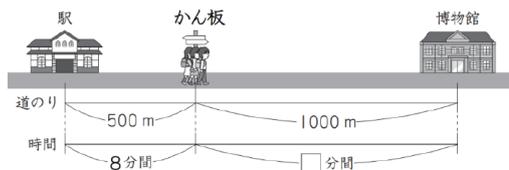
B :  $60 \div 10 =$  **え** **6** (m)

B :  $10 \div 60 =$  **か** **0.16...** (秒)

- (2) **A**さんと**B**さんでは、どちらが速いと言えますか。

**A**さん

- 2 さくらさんたちは、地いきの昔のことについて調べるために、博物館へ行きます。さくらさんたちは、駅から8分間歩いたところで、「博物館まで1000m」や「駅まで500m」と書いてある看板を見つけました。



500mを8分間で歩く速さで歩き続けると、1000mを歩くのに何分間かかりますか。答えを書きましょう。

**16** 分間

- 3 分速300mで走る自転車が、4200mを進むのに何分間かかるかを求める式と答えを書きましょう。

式

$4200 \div 300$

答え

**14** 分間

- 4 けいたさんは、分速60mの速さで2時間歩きました。けいたさんが歩いた道のりは何kmですか。答えを書きましょう。

**7.2** km

\*学校の先生は、「みへの学力向上県民運動」のホームページ「先生のページ」、「学-Viva!!セット (小学校)」内の「算数 第24弾」から、ダウンロードできます。

\*児童の1人1台端末では、「CBTシステム」にログインし、「ワークシート」内の「小学校→5年生→算数→学-Viva!!セット第24弾」から、ダウンロードできます。

## (4) 課題の改善に向けた授業例の紹介 (授業アイデア例より)

### 算数

TYPE  
S

1 (3)

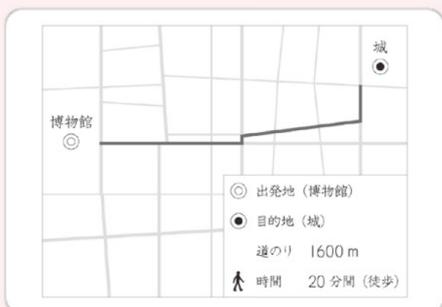
### 「どちらが速いかを判断しよう」

～除法の式と商の意味を理解し、表現する～

速さを求める除法の式と商の意味を理解することに課題が見られました。異種の二つの量の割合として捉えられる数量を用いて、目的に応じてその大きさを比べ、表現できるようにすることが大切です。本授業アイデア例では、単元末において、日常生活の問題を解決することを通して、速さなど単位量当たりの大きさの意味について理解し、どちらが速いかを判断できるようにすることをねらいとした授業を紹介します。

#### 授業アイデア例

#### ① 速さを比べる日常生活の場面から問題を見いだす。



インターネットで調べると、博物館から城までは、1600mで、20分かかるそうです。私たちが歩いて20分間で行くことができるかな。



私たちは、500mを歩くのに7分間かかりました。



それぞれの道のりと時間は、表にまとめることができます。速さを比べてみましょう。



教師

道のりと時間		
	道のり (m)	時間 (分)
インターネット	1600	20
私たち	500	7



速さは(道のり)÷(時間)で求めることができるので、インターネットから分かる速さは、 $1600 \div 20 = 80$ で、分速80mです。



私たちの歩く速さは、 $500 \div 7 = 71.4\dots$ で、分速71.4mです。



分速80mと分速71.4mなので、数が大きい分速80mの方が速いと思います。



例えば、50m走で、10秒と9秒では、9秒の方が速いので、数が小さい方が速いと思います。だから、数が小さい分速71.4mの方が速いと思います。



数が大きい分速80mの方が速いのでしょうか。数が小さい分速71.4mの方が速いのでしょうか。



速さを比べる日常生活の場面から、数値が大きい方が速いのか、小さい方が速いのかについて調べようとする態度を養うことが大切です。

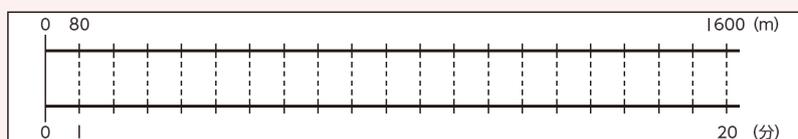
#### ② 速さを求める除法の式と商の意味を考える。



分速80mと分速71.4mについて考えます。分速80mとはどういうことですか。式から求められた答えについて、もう一度考えてみましょう。



$1600 \div 20 = 80$ について、数直線に表してみます。



1600mを20等分しているの、1分間あたりに80m進むことを表していることが分かります。



分速80mとは、1分間に進む道のりが80mということですね。



同じように分速71.4mの意味を考えると…。

## 課題の見られた問題の概要と結果

学習指導要領における領域・内容

### ① 日常の事象を数理的に捉え数学的に表現・処理すること (地域めぐり)

(第5学年)  
C 変化と関係 (2)ア(ア)

①(3) 正答率 **56.0%** ⑦と⑧の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ



分速80mと分速71.4mではどちらが速いかわかるように、1分間あたりに進む道のりを矢印で表しました。



1分間あたりに80m進んでいるイメージを思い浮かべてみましょう。



1分間歩いたときに、分速80mの方が、分速71.4mより遠くまで歩くことができるということですね。



インターネットから分かる速さの方が、同じ1分間あたりの道のりが長いので速いといえます。だから、分速で比べるときは、数が大きい方が速いです。



私たちは20分間で着くことはできなさそうですね。



商が単位時間あたりに進む道のりであることを、数直線や図などを用いて確かめることが考えられます。その際、単位時間あたりに進む道のりが長い方が速いことを理解できるようにすることが大切です。

### ③ 速さを比べるときに、数値が小さい方が速い場合について考える。



50m走のときは、数が小さい方が速かったですね。同じように、数が小さい方が速いときは、どんな場合がありますか。



25mを泳ぐ速さを比べるときにも、時間が短い方が速いです。



長さをそろえているときには、時間をそろえているときと違って、数が小さい方が速いですね。



速さについて、どちらが速いかを調べる場合には、時間と道のりのどちらかを単位量にするかによって、求めた商が大きい方が速い場合と、小さい方が速い場合があります。商の意味を理解して判断できるようにすることが大切です。



#### 本授業アイデア例 活用のポイント!

- 速さの学習では、児童の日常生活の場面と関連付けて、速さのイメージをもつことができるようにすることが大切です。(例) 50m走は時間が短い方が速いです。10.0秒と8.2秒では、8.2秒の方が速いです。私の50m走のタイムは10.0秒です。秒速で表すと秒速5mです。秒速でも表すことができません。
- (例) 自動車は時速50kmで、歩く人は分速80mで進みます。身の回りの速さは時速や分速、秒速などで表されています。(例) 新幹線は自動車よりずっと速いです。時速で表すと新幹線は時速180km、自動車は時速50kmで新幹線の方が速いことが分かります。数値で表すと新幹線の方が速いことがよく分かりますね。
- 速さを公式によって求めることを学習した後も、単位量あたりの大きさの意味に基づき、速さを比べる活動を取り入れることが大切です。

参考 「令和3年度 報告書 小学校 算数」P.20~P.37, 「令和3年度 解説資料 小学校 算数」P.12~P.25

